

1 クリスマスまでには帰れるさ 2 パンと平和、民主主義を求めて(教科書194～197ページ)

ドイツがど うめい側

怒ったオーストリアがセル
ビアに戦争を仕掛ける。
セルビアはイギリスに助け
を求める

ドイツは、Uボートという潜水艦で、イギリス客船のルシタニア号を攻撃→アメリカ人が多数犠牲に

めあてに対するこたえ

3 成金の出現 (教科書 198~199 ページ)

めあて

第一次世界大戦は、日本にどんな影響を与えたの？

1914 年 8 月 日本は連合国の一員として第一次世界大戦に参戦

理由：日本はイギリスと(1))を結んでいたから！

→ヨーロッパではなく、中国や太平洋にある(2))の軍事拠点を占領する
中華民国政府に対し、(3))を出す。

・日本が租借して(借りて)いる土地の期限の延長。

・ドイツの権益を日本にゆずることなど、日本に有利なもの

→日本は、軍事力を背景にして認めさせる

ロシア → 社会主義の国家である(4))が成立 ⇒ 各国は警戒

1918 年 連合国・日本が(5))を行う。

1922 年まで兵力をとどめる → 国内外から反発 【ソ連の権益をねらう目的です】

日本では、米の価格が大幅に上昇する → 富山県を中心に(6))の発生
軍隊を出動して、これをしずめた。

第一次世界大戦は、総力戦だった

→ ヨーロッパ諸国で船が不足する

・日本で製造 → (7))の発達

・重化学工業の発達

動力源として、電気が使用される

→ (8))発電所の建設がすすむ

シベリア出兵→
軍が米を必要とする→
高く売りたいから売り惜しみをする→
米の価格上昇

結果：日本は輸出 > 輸入となり、(9))とよばれる好景気になる。

にわかに(=急に)大金持ちとなる(10))が出現する。

三井・三菱・住友・安田などの大企業が力をつける

→ (11))に

めあてに対する答え

成金とは
将棋の駒で一番弱い「歩」は、相手陣地
に入る(成る)と(金の駒と同じよう
に)いろいろ動けるようになる。

↓
それまで弱いものが、いきなり力をもつ
ことのたとえ



4 不戦の誓い（教科書 200～201 ページ）

めあて 国際社会は、第一次世界大戦の経験をどう生かそうとしたの？

1918 年 第一次世界大戦休戦（同盟国の降伏）

1919 年 連合国とドイツとの間で、

（1）を結ぶ

講和会議では、アメリカ大統領の（2）が、

14 ヶ条の平和原則を提唱する。「無併合・無賠償・（3）」

↓

部分的にしか受け入れられず

（1）の内容

- ・ドイツは植民地をすべて失う。
→日本は中国の権益・南洋諸島の委任統治権を得る
- ・ドイツの再軍備の制限
- ・ドイツは巨額の賠償金を支払う

1920 年 （4）の成立

→ 世界の国々の協力で、

国際平和を守ろうとする機関

42 カ国の加盟でスタート。本部は（5）

日本は常任理事国として、重要な位置に。

※ アメリカ、ソ連、ドイツが当初は不参加

1921 年 （6）会議が開かれる

- ・軍艦の制限など軍備縮小へ
- ・日英同盟の解消

ドイツ

1919 年 （7）の制定

- ・男女に選挙権を与える、労働者の団結、福祉の大切さなどが書かれる

一因として、「スペインかぜ」と言われた、
インフルエンザの大流行がありました。

ヨーロッパの国々は戦争で多くの死者
を出しています。そんなこと受け入れ
られません。

ドイツ政府はとにかくお金を刷って
刷って刷りまくる
→物価が急上昇、えらいことに

公民でも出てきます！！
覚えておこう！！！！

めあてに対する答え

5 わきあがる独立の声 6 憲政の本義を説いて (教科書 202~205)

めあて

第一次大戦後のアジア、日本の動きとは？

ウィルソンの 14 条の平和原則 → 民族自決

この考えにもとづき、各地で運動が起こる

朝鮮 1910 年より、(1) の植民地

1919 年 3 月 1 日 (2) がおこる

…京城（今のソウル）で、朝鮮の独立を宣言する

→警察・軍が押さえつける。

・朝鮮総督府は、人々の権利を一部認め、統治の仕方を変える。

各民族が、自分たちのことを
自分で決める、という意味

中国 1911 年、(3) 建国

1919 年 5 月 4 日 ドイツの権益を日本が受け継ぐことに、北京の学生が抗議

→ 日本の侵略に反対する運動に (4)

その後、中国では、

・ 1919 年 孫文は (5) をつくる。

・ 1921 年 (6) ができる

孫文は中国共産党・ソ連と手を結んで改革を行う

・ 1927 年 国民党の (7) が、南京に国民政府をつくる

→共産党と対立

インド (8) の植民地

(9) による非暴力・不服従運動で
植民地支配に抵抗

国民党と共産党は、手を組んだり
ケンカしたりしますが、
共通の敵がいると、手を組みます。

☆ 日本の政治

明治末～ 政党の力が次第に強まる

1913 年 「憲政擁護」の主張が強まる → 藩閥内閣、桂太郎の退陣

(大正 2) これを (10) 運動という

第一次世界大戦中 吉野作造が (11) をとなえる。

→政治は、国民のために

国民の意見が大切！

→ (12) のおこり

1918 年 (13) が内閣をつくる

→政党の党員が多い (14)

選挙権の拡大 (国税 3 円以上に)

1924~1932 年 政党内閣が続く (憲政の常道)

1925 年 加藤高明内閣のときに

① (15) …25 歳以上の男子すべてに選挙権を認める

② (16) …社会主義を取り締まる法律

憲政擁護

…憲法で決められた政治を守る (擁護する) という主張。

明治時代、政府は政党の言うことを無視していましたね。

⑦デモクラシーのうねり(p206～207)

⑧モボ・モガの登場(p.208～209)

めあて：

☆社会運動の高まり

- ・第一次世界大戦後の不況 → 社会運動の高まり
(1)
- ・(2)の増加・・・賃上げや労働時間の短縮を要求
- ・1920年：初の(3)が行われる。
- ・1922年 社会主義の政党である(4)が結成。
- ・農村でも、地主に対して(5)が頻発する。

・差別との戦い

女性の地位向上→(6)による運動

市川房枝による、参政権の獲得運動

部落差別の解放→(7)を設立

アイヌの人々の解放→(8)の設立

☆都市の暮らし

大正から昭和初期・・・工業化、(9)の急激な増加

- ・都市と郊外を結ぶ(10)の発達
- ・市内・・・市電やタクシー・バスの使用、東京で地下鉄が開通
- ・ガス・水道の普及、(11)の社会進出
- ・衣食住の洋風化：

☆文化の大衆化

- ・義務教育を受ける人が、ほぼ100%に。(国民の大部分が読み書きできる)
- ・大学・高等学校の設立→「(12)」の登場
→戦争や災害を伝えるメディアの登場(雑誌・新聞)
- ・文庫本、1冊1円の文学全集などが出版される。
- ・1925年～ (13)放送の開始
- ・娯楽として、(14)の登場
- ・「(15)」とよばれる知識層の拡大

☆学問・文学

- ・哲学者：西田幾多郎 ・民俗学：(16) →庶民の生活を記録
- ・白樺派・・・(17) 人道主義
- ・谷崎潤一郎や(18)の小説が親しまれる。
- ・(19)・・・プロレタリア文学(労働者の立場から)

社会プリント

9 独裁者の出現 (教科書 212・213 ページ)

めあて 世界恐慌によって、各国の政治や社会はどんな影響を受けたの？

1920 年代の **アメリカ** 第一次世界大戦以降の好景気 → ヨーロッパ諸国を抜き、世界の No.1 に
1929 年 ニューヨークのウォール街で株価が急落



世界中に広がり、(1)) の発生 (倒産・失業者の増加)

対応

アメリカ (広大な国土を持つ)

1933 年 (2)) 大統領による、
(3)) が行われる。

イギリス・フランス (国土は狭いが、植民地がある)

(4)) をとる。

= 植民地との貿易をすすめ、それ以外の国との貿易
を減らす。

広い土地を生かして、ダム建設な
どの公共事業を起こし、失業者を
雇った。

公共事業：政府が税金で行う仕事

イタリア・ドイツ (国土が狭く、植民地もない)

反対派をおさえ、軍事力で領土を拡大しようとする

(5)) という独裁政治体制ができる。

・イタリア… (6)) のファシスト党が実権をにぎる

→ 1935 年より、アフリカのエチオピアを侵略

・ドイツ… (7)) が (8)) 党を

つくり、ドイツの首相になる

→ ベルサイユ条約を無視して再軍備し、

民主的な (9)) 憲法を

ストップさせる。

軍事力を増やす

= 兵器が必要となる

= 工場で製造するため、失業者が減る

= 経済回復 という考えです。

ソ連

社会主義国であるため、恐慌の影響を受けない。

「五か年計画」を実施し、経済成長を実現

指導者 (10)) の独裁が強まり、反対派の弾圧などを行う。

めあての答え (日本は、どうしたと思いますか?)

めあて 世界恐慌は、日本にどんな影響をもたらしたの？

日本 第一次世界大戦後、日本経済は不景気に
関東大震災後、さらに不景気に



1930 年代 世界恐慌の影響を受ける
企業の倒産・失業の増加 (1)
・生糸の輸出が減り、まゆの価格が下落
・北海道、東北での大凶作 「欠食児童」「身売り」など
→ 労働争議・小作争議の増加
(2) の厳罰化 (最高刑を死刑に)
・財閥の力が増大

中国 (3) のつくった国民政府が全国を統一しはじめる
→ 日本の権益を脅かす
→ 日本が出兵、満州で (4) を爆殺する。

日本 浜口雄幸首相による (5) の行きづまり

1931 年 満州 (中国北部) への国民政府の進出に対抗し、
満州の日本軍 (6) が、奉天で線路を爆破する (7)



軍部：中国のせいにして攻撃したい

政府：これ以上広げたくない

→ 日本軍は満州を占領する (8)

1932 年 清の最後の皇帝だった (9) を国のトップにする「(10)」を
建国する。

・日本から集団移住が行われる。

中国は、日本の侵略とみなして、(11) に訴える

→ リットン調査団による調査

→ 総会で、「満州国」は認められないとする。

1933 年 日本は (12) を脱退し、国際社会から孤立。
軍縮条約を破棄し、軍備増強を行う

めあての答え